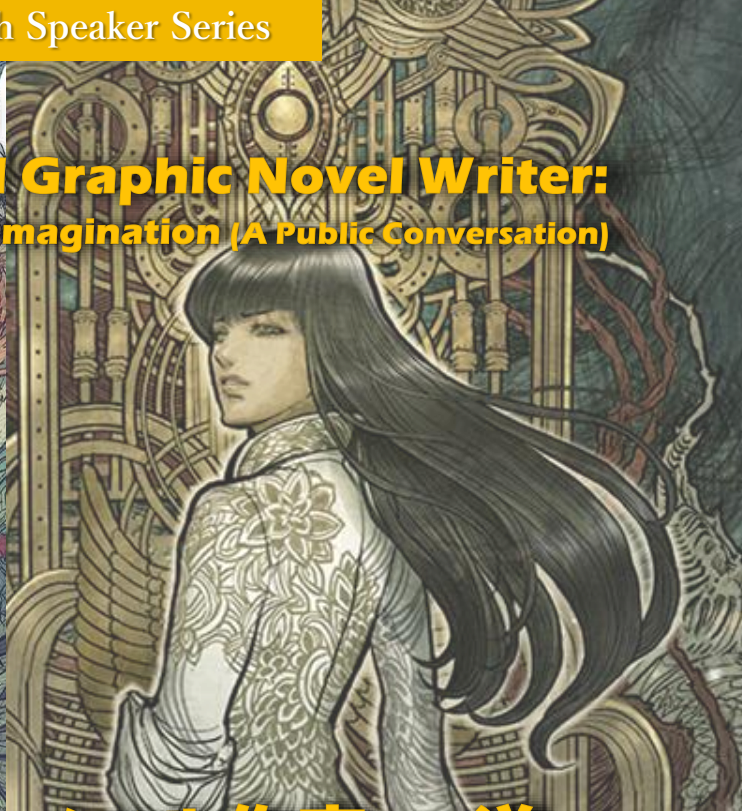
Seijo University Department of English Speaker Series

The Road to Becoming a Comic Book and Graphic Novel Writer:
Marjorie Liu's World-Building Imagination (A Public Conversation)





アメコミとグラフィック・ノベル作家への道：
マージョリー・リュウの創造する架空世界（公開対談）

2026
12/21 Mon.
16:30 ▶ 17:30

※参加費無料
※対談は英語で行われます。

会　場　成城大学7号館4階 007 教室
〒157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20

参加方法　参加をご希望の方は12/19(土) までに事前申請フォームよりお申込みください。
事前申請フォーム▶
https://forms.gle/N57mmguhaUs8zmzBA

質問募集　事前申請フォームに質問欄があります。質問があればご記入ください。対談の最後に質疑応答の時間も作りますので会場でも直接ご質問いただけます。

Marjorie Liu（マージョリー・リュウ）



父親が中国系アメリカ人であるリュウ氏は、フィラデルフィア生まれ、シアトル育ち。ロレンス大学で東アジア研究と生物医学倫理を専攻し、卒業後はウィスコンシン大学ロースクールを経て弁護士となる。その後パラノーマル・ホラー小説家へ転身し、やがてアメコミ作家として活躍し、マーベル社の*Astonishing X-Men*シリーズのライターとして注目される。2015年には、アーティストのタケダ・サナ氏とコラボし、架空の家母長制アジア社会を舞台としたアメコミシリーズ*Monstress*（邦題：『モンストレス』）で脚光を浴びる。*Monstress*の連載を続けながらタケダ氏と再度コラボしたグラフィック・ノベル*The Night-Eaters*シリーズも大人気。同作は中国系アメリカ人の双子の冒険譚。コミック界の権威あるEisner Awardを*Monstress*と*The Night-Eaters*で複数回受賞している。そのほかにHugo Award, British Fantasy Award, American Library Association Outstanding Comics for Adults Awardなど受賞歴多数。

◆ 対談内容について

アメコミ*Monstress*とグラフィック・ノベル*The Night-Eaters*の２シリーズを手掛け、数々の受賞歴をもつライター、マージョリー・リュウ氏をお迎えします。ライターになった経緯について、この２シリーズについて、それぞれの架空世界を想像・構築した過程について、男性が多いアメコミ界で女性としてアジア系アメリカ人として活躍することについてなど、対談形式でお話しいただきます。（聞き手：英文学科 松川祐子）

【主催】成城大学文芸学部英文学科　【お問い合わせ】成城大学文芸学部共用研究室　Mail: bungei55@seijo.jp